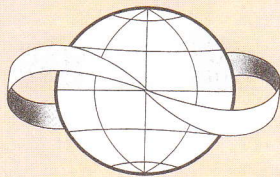


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



商標登録第4882482号

第47号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
東京都東村山市久米川町1-16-18
TEL: 042-395-9788
FAX: 042-395-9787

ペットボトルのふたで ポリオワクチン寄付???

今、「ペットボトルのふたを集めてポリオワクチン寄付」と言うボランティア活動が、学校や病院・自治体さらにはスーパーや一般企業などにも広がっている。どのような仕組みになっているのかインターネットで検索してみると、色々な疑問点が書き込まれていた。ふた400個(約1kg)でワクチン1回分(価格は10円)を寄付できる。ワクチンは液体で一回一滴口に入れ、一週間後にもう一滴接種して完了となる。つまり、ふた800個で一人分のワクチン二滴20円を寄付したことになる。ところがこのキャップを送付するのに約千円の費用がかかるという。取り扱い先(エコキャップ推進協会など)に送られたペットボトルのふたは、リサイクル業者に売却し、その売上げの一部をJCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付すると言う仕組みだ。この運動は2005年頃スタートしたようだが、WHOは1988年ポリオ(脊髄性小児麻痺)根絶活動を実施していて、2001

年の統計では世界のポリオ患者は約600人と発表していると云う。活動内容にもキャッチフレーズにも問題があるのではと感じた。アルミ缶のプルタブを集めて車椅子を寄付しようという活動も、いまひとつ実態が見えなかった。今回の運動や善意の活動を否定するつもりは無く応援も惜しまないが、前記のようなシステムで実施しているキャップ回収には疑問の声も上がっている。**容器包装リサイクル法では、**ペットボトルは、ふたを取って内部をよく水洗して排出することが法律で決められている。各自治体は、回収・選分・プレス加工して一〇トン以上にまとめ、指定業者に出荷する。行政の施設でふたをとる作業も大変な負担となっている。(経費は全て自治体負担)再商品化費用は、ボトルメーカーや飲料メーカー等の負担となる。当然取ったふたもペットボトルと一緒に事業者責任で処理する義務があるはずだが、自治体が不燃ごみ等で処理しているところも多い。加工業者は、中を洗滌していれば、ふた付きのままでも商品化工程で問題なく処理できると言う。ならばボトルとふたが連結する工夫も事業者の責任で実施して頂きたい。

**リサイクルが大量消費の
免罪符に利用されていないか**
学校に持ってゆくため、子供にペットのジュースを頻繁に買わされたと言うブログもあったが、リサイクルやエコということばが逆利用されていないか検証も必要だ。この運動も200円のを寄付するのに千円の送料を負担するならば、単純に千円送金すれば五十倍のワクチンを寄付できるはずだ。いや、捨てるよりリサイクルしてごみを減らせばCO2削減にも貢献できるとの反論もあったが、やはり効率的なりサイクルと活動を見直す必要はあるように思う。**地産地消のリサイクル活動を**すべての再生資源は、排出者が分別を徹底し、地域内で品目別に量をまとめ、地元業者の手によって地産地消のリサイクルを行うのが、最も環境に優しい方法だと思う。少量のものを特定のルートで個々に搬送したり、遠方の業者が引き取りに来るなどは、CO2排出量の面でも環境負荷が大となる。また、真のCO2削減対策には、難リサイクル容器の3R運動を根本的に見直す必要がある。「ジュースを一本我慢すれば、六人分のワクチンが寄付できる」と子供たちには知らせたい。T・K

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

直言拝聴



再生資源の相場について

株式会社 資源新報社

専務取締役

太田原 覚

《再生資源相場を考える》

振り返ると再生資源相場との付き合いは、四半世紀を超えていた。この間の再生資源業界を取り巻く環境は、大きな変動期を経て、今日に至っている。ここでは、再生資源相場動向という観点から話を進めていきたい。

それでは、先ず、始めに、再生資源相場のうち鉄スクラップと古紙の認識しうるレベルにおける今日までの市況推移を確認したい。私が、現在の仕事に就いたのは、1982年4月からである。その当時の再生資源の価格を振り返ると、鉄スクラップ炉前価格（ユーザードである電気炉メーカーは、鉄スクラップを溶解して粗鋼を生産する。炉前価格は、電炉メーカーの工場着値）は、トン当たり特級2万5000〜6000円位。古紙価格についてみると、新聞古紙の製紙メーカー工場着値は、トン当たり2万〜2万1000円位（古紙価格は、キロ当たりで表現されていたが、本稿では、トン当たりで統一させていただくこととお許し願いたい）であったと思う。手元の資料によると4月の為替は、1ドル＝246円となっている。鉄スクラップ、古紙ともに日本は、輸入国であり、輸入価格と入着のタイミングが、国内市況にも影響を与えていたものと思われる。入

社当時は、先ずは、鉄スクラップ業界から勉強させてもらったが、「鉄スクラップは、だいたいトン当たり100ドルが目安になる」と言われていた。

その後、為替相場の大幅な円高ドル安が進行していくに連れて、鉄スクラップ価格も下落していったが、その過程においても「為替は、1ドル＝200円以下の円高にはならない」「炉前価格が、2万円を切るとは考えられない」「鉄でも古紙でも問屋仕入価格が、トン1万円を切れば回収出来なくなる」ということは、その当時の見解としては、正しかったと思う。しかしながら、結果的には、為替は、1ドル＝100円どころか、80円も突破する円高・ドル安となり、鉄スクラップ、古紙ともにエンドユーザードであるメーカー価格は、トン当たり1万円を下回った。市中相場においては、逆有償と言われる、それまでの商慣習では、考えられない事態にまで価格は、落ち込んでいくことになる。そして、これらの再生資源の価格のどん底というか、ボトムを付けたのは、それほど昔の話ではない。鉄スクラップ炉前価格は、2001年6月にトン当たり6000円前後まで暴落した。古紙についてみると、2001年8〜9月に新聞古紙は、トン当たり1万円台を割

り込み、9000円となり、約1年にわたりこの価格水準が続いた。2001年ということは、21世紀という新世紀がスタートした年である。この頃には、「例え炉前価格が、6000〜7000円であっても工場経営を維持していくこと」が、企業課題とさえ言われており、今後の市況予測において、「鉄スクラップ炉前価格は、遠からず、1万円台を回復する」と申し上げたところ、普段は本当に温厚な方に、「どういう根拠があるのか」と真剣に怒られたことがあった。

《想定外の乱高下》

その後の市場の経緯については、ご記憶の方も多いと思うが、改めて非常に簡単に確認すると、中国、韓国、台湾はじめアジア市場での需要の拡大が、メーカーの生産、再生資源原料の伸びにもつながり、価格は、復元を果たし、2008年夏のピークを迎える。この間、為替相場も円安・ドル高に振られていったが、需給面において特徴的であったことは、再生資源の輸出の量的な拡大であったと思う。先程も触れたようにかつては、再生資源の輸入国であった日本は、輸出に転じた。

2008年9月のリーマンシヨ

ックを契機として世界同時不況の波動は、当然のことながら再生資源市場にも大きなダメージを与えた。日本国内における景気の後退と鉄鋼、製紙等メーカーの急激な生産の低下は、再生資源の需要を落ち込ませると同時に、発生自体にも極めて深刻な影響を与えた。

そして、再生資源の発生という面では、依然としてその影響が残っていると言える。リーマンショック以前の2008年7月に国内の鉄スクラップ炉前価格は、トン当たり特級(H2)で7万円台を付けるが、同年11月には、1万円前後にまで価格は、暴落した。古紙については、輸出価格の上昇が、国内市況を牽引してきていたが、2008年秋の時点でアジア向けの古紙輸出は、大暴落となり、一時的に商談は困難なものとなった。そして、古紙輸出ルートが大きなダメージを受けている一方で、国内製紙メーカーの大幅な減産により国内古紙の需要も価格も大きく落ち込んだ。昨年2009年に関しては、年後半辺りから、国内メーカーの需要の拡大、内外での価格の復元が、緩やかなペースで進んだ年と言えよう。百年に一度と言われた世界同時不況ではあるが、再生資源の需要、価格は、当初、

予測されていたより、短期間で回復に向かったと言える。その最大の牽引役となったのは、やはり中国市場である。中国では、公共投資を中心とする景気対策を極めて短期間のうちに実行、その成果を挙げた。その結果として、輸出主導から内需主導の下での景気浮揚を果たし、2009年そして2010年と高い経済成長を遂げていくものと見られている。今年5月からの上海万博は、中国経済の発展が、これからも継続していくことを内外にアピールするものとなるだろう。

《市況変動の構成要件》

再生資源の市況動向を予測する上で、基本となるのは、内外における需給動向、それまでの価格推移ということになるが、心理的な要因の影響も決して少ないとは言えない。相場を見る上で、諸先輩から教わったことの中に「山高ければ谷深し」「市況予測は、少数意見が正しくなる」というものがある。「山高ければ谷深し」は、この業界に限らず使われると思うが、このことをジェットコースターに例える方もいらつしやるが、直近でも2008年夏から秋にかけてこの格言を厳しい形で体感させられている。後者の見解については、

価格が上昇している時には、強い要因(下げの時は弱い要因)ばかりが目立つので、その渦中に居ると、意外と変化の局面の兆候を見落とすことがあるということと関係してくる。兎に角、市況変動においては、本当に上げでは、強い材料ばかり、下げでは、弱い材料ばかり出てくるので、相場の変動をオセロに例える方の意見に伺い願ったことは何回もある。

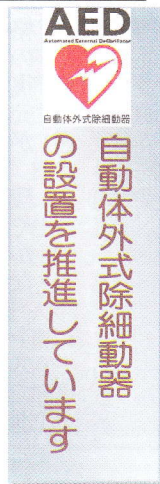
そして「売り手と買い手の利害は基本的には一致しない」ことを常に念頭に置くことは、必要であると思う。かつて総合商社の担当者とお話した時に「製品でも原料でも値下がりした時の方が儲かる」また、「需給において供給余剰となり買い手に有利な市場となる方が利益は取りやすい」ということも言われた。

再生資源のマーケットにおいて輸出市場は、活発な展開を見せてきており、これからも輸出先との関係は、さらに強まっていくことになるだろう。その中で買い手としての輸出先では、基本的には、「少しでも安く買いたい」という意思を持って商談に臨んでいることを理解して、流れてくる様々な情報を受け取ることが必要であると思われる。

を理解して、流れてくる様々な情報を受け取ることが必要であると思われる。

国内市場においては、資源小国である日本が、再生資源輸出を一方的に拡大させていくことに対する疑問の声も出始めている。即ち、再生資源の国内回帰ということである。二酸化炭素の削減等環境保全の観点からも国内における再生資源への注目が増していることは、確かである。それでも再生資源の国際循環、特にアジア市場での資源循環の必要性が増していることも事実ではある。この問題については、どちらかが一方的に正しいということなく、どういうレベルにおいてバランスを保つのかということを議論していくことが重要であると思われる。

現在の再生資源マーケットは、国際市場での需要拡大の中で価格の復元を果たしてきたが、その一方では、国内における回収量の低下に苦慮する局面が続いてきている。短期的には、国内景気の浮揚ということが求められることになるが、再生資源の循環に関しても動脈産業と同じように国家的な見地からの安定的な流通の方向性を議論する時期に来ているのかも知れない。



当組合では、四月より組合員七社の協力を得て、組合関連施設二箇所と合わせて九ヶ所にAED（自動体外式除細動器）の設置を推進しました。（設置場所は左図参照）
AEDは、心肺停止状態に陥った方に装着すると自動的に診断をし、電気ショックを与えたり、音声により適切な処置（心臓マッサージなど）を指示してくれる医療器具です。

設置場所の社員やお客様はもちろんですが、近隣にお住まいの地域の方やお近くを通りかかった方の方が一の事態が発生した場合、大変有効な応急措置を行うことが出来ます。

設置場所の従業員は簡単な講習会を受けておりますが、専門的な知識が無くても、パッドさえ装着すればAEDが自動で判断をしますので、誰でも使用することが出来ます。

防災を通じて地域に貢献してまいりたいと考えています。

AED設置事業所の従業員が、早速の社会貢献

上述のAED設置事業所である、株式会社奥山商店の従業員吉水剛士さんが、AED設置講習会の約二週間後の四月十五日（木）、通勤

途中に路上で倒れていた男性に対し直ちに適切な救命措置を開始し、近くにあったAEDを装着し、自らは心臓マッサージを続けることで尊い命を救うことが出来ました。（※残念ながら、男性は救急隊に引き渡された後、翌日亡くなられたとのことです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。）

吉水さんは、『たまたまちよつと前に会社でAEDの講習会があったので、とにかく無我夢中で心臓マッサージをした』と話していました。



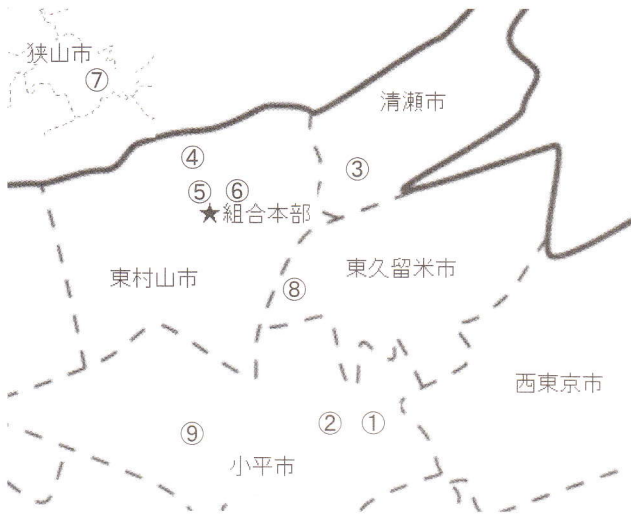
感謝状を受けた吉水さん

事故から一週間後に、西東京消防署より、吉水さんに感謝状が授与されました。

今回、男性が倒れてから吉水さんが発見するまでに時間がかかってしまい、残念ながら結果的には命を救うことができませんでした。AED設置をきっかけに従業員の方々の防災に対する意識が向上し、人命救助という形で社会貢献できたことは素晴らしいことだと思います。

当組合の関連の従業員の多くがこの地域で回収作業を行っており、その数は日によって一〇〇名以上います。その多くが救命に関する知識を有し、社会に貢献できるようこれからも努めていきます。

【東多摩再資協関連施設 AED設置場所】



- ① 株奥山商店(小平市花小金井 3-13-1)
 - ② 株土井商店(小平市花小金井 4-28-3)
 - ③ 株小畑商店(清瀬市竹丘 2-31-18)
 - ④ JP 資源株東村山事業所(東村山市久米川町 5-32-15)
 - ⑤ 株三栄サービス(東村山市久米川町 1-16-5)
 - ⑥ 株水野商会(東村山市久米川町 1-48-53 株ケイツ内)
 - ⑦ 株久米川紙業狭山事業所(狭山市赤坂 673-2)
 - ⑧ 柳泉園リサイクルセンター(東久留米市下里 4-3-10)
 - ⑨ 小平市リサイクルセンター(小平市小川東町 5-19-10)
- ※リサイクルセンターは作業員の休憩室にAEDを設置



(社)東リ協会 ソウル視察会

三月十一日から十三日にかけて東リ協会主催によるソウル市内にある公営の廃棄物焼却場とRPF製造施設の見学会に、東多摩組合から小畑・吉浦の二名が、上田雄健会長以下十二名に加わった。

蘆原(ノウオン)リサイクル施設

ソウル特別市は人口一千四十二万人で、二十五区に区分されている。その中で発生する一般廃棄物(燃えるゴミ)は、四か所の焼却場で処理されている。その中の一つである蘆原区(ノウオン)にあるリサイクル施設を見学した。施設は川の側にあり、反対側にはマンション群があった。到着後、施設の方の案内で、説明を受けた。焼却炉はドイツ製で施設で発生する大量の温水は、近隣のマンションに暖房用に供給している。システムは日本と同じだと思うが、子供にリサイクルを解りやすく説明し、また体験させる設備がたくさんあり、興味深かった。



(社) KPRS 韓国
プラスチック資源循環協会
が運営する

(株) KRS (協会のリサイクルモデル工場)

工場はソウル市から高速道路を使い、一時間半ぐらいかかる山中に作られていた。まわりは墓が多いだけで人里離れた場所であった。施設の設定や音、臭いは、日本のリサイクルセンターとあまり変わらない。興味深かったのは、ここではプラスチック単体でステイック状にしていて、購入先がチップや他の物を混ぜながら温度調節して使用するとのこと。原料のプラスチックは行政から入る。

二か所の見学ではあったが、韓国自体の活気を感じながら見る事が出来たので大変有意義であった。ガイドさんの住む地域のリサイクルは、ゴミ有料化になっていて、ゴミ袋を買って出すらしい。全ての区が有料化になっているのかは確認出来なかった。新聞古紙などの資源物は各集積所に集められてマンションの掃除をしている人たちに売上金が還元される。



見学の後、空時間に仁寺洞(インサドン)を歩く事が出来た。十年前初めて韓国に来た時に発見した、リヤカー専門に資源を集めている問屋を全員でのぞきに行くと、大きさは変わらないがプレス機が入って、前よりも元気に作業をしていた。観光客がたくさんいる、道路は狭い、と悪条件はあるが、それを乗り越えて働くバイタリティを見た気がした。韓国に負けないう様にしっかりと仕事をしたいと感じた研修であった。

吉浦

第17回 TAMA とことん討論会に参加

二月十三日、調布グリーンホール大ホールで行われたTAMAとことん討論会に参加した。

今回は『日本の「食」からごみ問題を考えよう』をテーマに、午前中は大江正章氏（コモズ代表・ジャーナリスト）が「自給を高め、循環型の農を再構築しよう」。そして総合食品スーパー（株）やまとの社長小林久氏が「田舎のスーパーが家庭の生ごみを集めた理由...」という事で講演された。

大江氏は日本の農業問題を取り上げ、食料自給率が高かった日本が1960年代以降の高度成長期のもとで食生活の変化から（米からパン）自給率が急減し、フードマイレージ（食料輸入量×運ぶ距離）も世界一、また食品廃棄物は平成十五年調査で約2200万トン、金額換算約十一兆円、内五五パーセントは家庭からという状況に陥ったことで、循環型農業に取り組んでいる福井県池田町、地産地消型学校給食を推進している愛媛県今治市、都市農業の重要性と

可能性の東京都練馬区の話などを例に上げ、循環型農業の再構築の大切さを講演された。

山梨でスーパーを経営されている小林氏はNPO「エコシティ」から店に生ごみ処理機の導入を強く懇願されたことがきっかけとなり、平成十九年三月に機械の設置に踏み切り、さまざまな問題を抱えながらも、スーパー経営の一環として生ごみの堆肥化に取り組んでいるということでした。

店に生ごみを持ってきたお客にはポイントをつけるという事で好評を受け支店にも拡大したそうです。また山梨県ではスーパーのやり方を参考に企業や自治体で生ごみの堆肥化の動きが加速するとともに、環境意識が高まりを見せているということでした。午後からは子どもたちからのメッセージと



して小学生が9名「食べ物とごみ」についての考えや思いを発表。そして「食」に関するリレートーク、デイスカッションと進み討論会は終了した。

農業も生ごみも、まずはその地域、地域で循環型社会をめざしているようです。組合のスローガンも「地域に根ざしたリサイクルパートナー」ということで、地域にどれだけ貢献できるかという気がします。

（社）東京都リサイクル 事業協会主催の省エネ セミナーに参加

去る平成二十二年二月二三日（火）、東京都都庁第一庁舎二五階一〇三会議室にて、（社）東京都リサイクル事業協会主催の省エネルギー対策セミナーに参加した。

最初に、東京都地球温暖化防止活動センター技術専門員の常慶隆一氏が、「リサイクル業界の省エネ対策について（エコドライブ対策を含む）」というテーマで講演。地球温暖化の現状と世界・日本国内における温暖化対策の動き（省エネルギー対策を含む）、リサイクル事業所における省エネルギー対策

事業所における省エネルギー対策の現状・種類・方法等について説明した。

続いて、東京都地球温暖化防止活動センター・省エネ推進チーム主任の原啓暢氏が、「東京都地球温暖化対策最新動向と都条例と中小事業者支援策について」というテーマで講演。事業所における省エネルギー診断や地球温暖化対策報告書制度等について説明した。

その後、懇親会が行われ、参加者一同で親睦を交わし、セミナーは無事終了した。

トイレットペーパー 「フューメラン」 (65m巻き・100個入り)

1ケース3,000円（消費税・配達料込み）です。

※注文は1ケース単位です。

※尚、配達地域は以下の地域に限定致します。

〔小平市・東村山市・東久留米市・
清瀬市・西東京市・東大和市〕

ご注文は当組合までお願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787

コラム

かみかみフリーオー

志木街道沿いを散策

清瀬駅北口から清瀬市役所に向かっただけで真っ直ぐ伸びている通りがけやき通りです。その通りを約700mほど行くと志木街道との交差点です。

志木街道は埼玉県志木市から秋津で府中街道に交わる街道です。

左に曲がって400mほどいけば小金井街道と交差しており、府中方面に向かい、逆に右に向かえば志木方面となる。小金井街道交差点から新座市あたごまでの志木街道上清戸・中清戸・下清戸となっています。

けやき通りを右に曲がり志木街道に入ると道の両側には大きいけやきが続きます昔ながらの門構えや蔵などある屋敷を横目で見ながら500mほど行くと、左に日枝神社と水天宮がほとんど一緒にあり七五三や初詣には結構な賑わいになります。

さらに300mほど行くと左に曲がれば500mほどで市役所に行ける市役所通りを過ぎた信号の右手には地元で人気の珈琲るぼが



あり、ちよつと一休みもいいのでは。さらに志木街道を300mほど行き、右に曲がりグリーンタウンへと向かって行き、ひまわり通りに出て、旧清瀬東高校を過ぎて左に行くと2008年から始まった、ひまわりフェスタバルの会場へと至ります。

8月〜9月にかけて会場では2万平方mに10万本のひまわりが咲き、夏の風物詩となっている。半日あればゆつくりと回れる行程です。ぜひいらしてください。

ストレス

解消方法

リサイクル業界に入ってから、まだ何年もたっておりませんが、リサイクル業界が、これほどまでに天気に影響される業界とは知りませんでした。なぜならば、雨の日は、行政回収の荷物は、晴れの日の四分の一か五分の一に減ります。

したがって、朝の天気予報は、いくつかのチャンネルで確認しています。週間天気予報も必ず見えています。行政回収日に晴れマークが付いていればホッとし、雨マークならば気持ちが暗くなります。家族からは、朝に、晩に、天気予報を時間ごとに見ると、何処のチャンネルも天気予報は同じと怒られます。

又、0.5円、1円の単価の動きに業者の方々が敏感に反応します。そんな些細なことでも、積み重なれば、ストレスになります。人間関係、仕事の忙しさ、気温の変化などがストレスの原因です。

そんなストレス解消方法ですが、私は好きな音楽を聴いたり、歌ったりしています。それから、散歩をしたりして自然と触れ合ったり、ゆつくり寝ることにしています。すべてのストレスを解消すること

はできませんが、少しは解消しています。

各々、ストレス解消方法は違うと思います。酒に頼る人、ジョギングをして体を鍛えながらストレス解消する人、海外旅行に行く人など、各々、ストレス解消方法は違いますが、余り日常のことに気を使わず「何とかなるさ」で気楽にすごすのがコツかもしれないね。

T・H

業界マーケット

平成二二年(暦年)我が国の「紙・板紙の生産量」は、二、六二八万トンで前年より四九九万トンも大幅に減少した。しかし「古紙回収率」は79.7%と前年より4.6%上昇し、「古紙回収量」は二、一六六万トンと前年比一〇九万トン減に留まった。

「古紙輸出量」も四九一万トンと対前年で一四二万トンも大幅増加したため、国内在庫は一掃した。

平成二二年(暦年)我が国の「粗鋼生産量」は、八、七五三万トンと前年より三、一二〇万トン激減した。「スクラップ発生量」も三割前後減少している。「スクラップ輸出量」は、前年より三九七万トン増えて九四一万トンになった。

日野市地域 懇親会に参加

四月二二日、社団法人東京都リサイクル事業協会が主催する日野市地域懇談会「日野市のリサイクル施策の現状と課題について」と題するフォーラムに参加しました。

日野市資源リサイクル事業協同組合の土方十四江理事長の司会により第一部として日野市長の馬場弘融市長から「日野市ごみ改革の経緯と展望について」の講演が行われ、就任以来推進して来た施策について熱弁をふるわれた。

日野市環境共生部クリーンセンター長の石坂貢様の挨拶を締め第一部は終えた。

第二部は意見交換会として東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長の江尻京子様とのコーディネートにより、環境事業の入札問題や古紙持ち去りの対策など行政と業者、市民のかかわり等、質疑応答が活発に行われた。

場所を移し懇親会が行われ盛況の中会は終了した。



事務局長紹介



近年、私の大切に行っているキーワードは、「環境」と「健康」です。「環境」という二文字は、マスクミ等でもクローズアップされていますが、教育面からの「環境学習」、経理面からの「環境経営」といったそれぞれの観点からの重要性を認識しつつ、これまで経理業務を中心として忙しい日々を過ごしていましたが、2年程前に東多摩再資源化事業協同組合（「東多摩再資源化」）にお世話になる機会を得ました。ご存じのとおり、「東多摩再資源化」は公益と営利の中間に位置し、その性格は営利の追求を目的としない認可法人として、共同受注、共同購入及び組合員の福利厚生を業務とする相互扶助組織です。結果として、従来からの業務、そして、現在、その中間の法人業務を経験することができ、気持ちも新たに毎日を送っています。私の好きな言葉は、「怒りと欲を

棄ててこそ、常に心は楽しめるものである」（熊沢蕃山（江戸時代の陽明学者・エコロジスト））、座右の銘は「無の己れ」、愛称は「クリちゃん」（田舎では「ヨッチちゃん」、再資源協では一部「クリリン」とも呼ばれています。）私生活では、家族の健康管理を考え、人参&林檎のジュースを作り、毎朝一杯づつつつあり、休日には妻とウォーキングを楽しみながら、季節を感じさせる花々を見てはトークもはずんでいます。好きな温泉三昧を楽しみ、体力ゲーム（Wii）に熱中して子供と競いあう今日この頃です。やはり「健康が一番」とつくづく感じるのは、年をとってきた証でしょうか。そして、大切な人とお酒を嗜みながら歌う「カラオケ！」、これがきつとストレス解消になっているのでしょうか。本組合は、2年後の創立20周年を間近にして、これまでに培ってきた事業の集大成と新たな発展への時期でもあり、そこで働く一員として、責任の大きさを痛感しているところです。いまや地方自治体、NPO、企業などの係わりを深めながらの資源リサイクルは、環境ビジネスの一分野として位置付けられ、循環型社会の実現に向けた再生資源の果たす役割は極めて重要であると思います。これからも、「環境」の重要性を肝に銘じ

青年部だより

〜青年部第八回通常総会〜

去る四月二四日（土）、当組合青年部第八回通常総会を開催した。

福田青年部長は、東多摩を発信源として次世代へ継承可能な業界作りにもまい進する決意を語った。

『東多摩ブランド』とも言うべき品質、安全向上を目指す事業方針始め、全議案が無事可決承認された。

なお、東京都資源回収事業協同組合（東資協）の青年部長には、四月一日付けで当組合の紺野琢生が就任した。



つつ、組合員一人ひとりからの知恵を結集することはもとよりその運営を掌る事務局としての立場を最大限に發揮すべく、なお一層尽力してまいる所存ですので、今後とも関係各位のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
栗田佳人

リサイクルセンター構内作業者 安全講習会を開催

去る三月一三日(土)、リサイクルセンターの構内作業者を対象にした安全講習会を開催した。
東多摩再資源協安全行動宣言を全員で唱和した後、紺野理事長から日頃の安全作業に対する感謝と改めて気を引き締めて作業にあたって頂きたいとの挨拶があった。



安全講習会では、福田青年部長から構内作業者の心得に関する説明、土井健一郎理事より作業上の安全に関する説明があった。その後、青年部の紺野副部長から、作業上のKY(危険予知)に関するシミュレーションをワークシートを使用して行った。参加者からも積極的に意見を出して頂き、日常的な作業に潜む危険について参加者全員でシェアすることが出来た。講習会の最後には、土井相談役



から講評があり、何よりも安全を優先して作業にあたるようにまとめの言葉を頂いた。講習会参加者全員に東多摩再資源協の講習会修了証を配布した。

安全講習会の後は、福利厚生を兼ね、恒例のボウリング大会、懇親会を行い、日頃の作業員の精勤を労った。今後とも心身の健康と安全第一で作業に取り組んでみたい。

東多摩再資源化事業協同組合

講習会 修了証

会社名 _____ 氏名 _____

受講日	講習事項	確認印
年 月 日	構内作業者安全講習会	
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

東村山市立第二中学校 職場体験学習受け入れ

本年も、二月三〜五日の三日間、東村山市立第二中学校の一年生を対象にした職場体験学習の受け入れを行いました。

今回は、日興紙業商事(株)、J.P.資源(株)東村山事業所、(株)水野商会、(株)三栄サービスの四社で一三名の生徒を受け入れた。

朝の点呼に始まり、まずは回収車両に同乗し、行政回収や集団回収、事業所の段ボール回収などをお手伝いしてもらいました。



パッカー車で回収
に行ってきます!

ヤードに戻ってからは、古紙の紐切り、選別作業、新聞の茶紙袋取り(何故か一番人気でした)を体験し、古紙の分別や再生用途について見学しながら学んでもらいました。

初日の午後には、組合本部二階会議室にてリサイクル勉強会を行



何故か生徒さんに大人気の
新聞の茶紙袋取り作業

い、東村山市のごみと資源の分別処理先、処理方法、古紙の分別や回収の種類などを講義した後、恒例のリサイクル実力テストに挑戦頂きました。

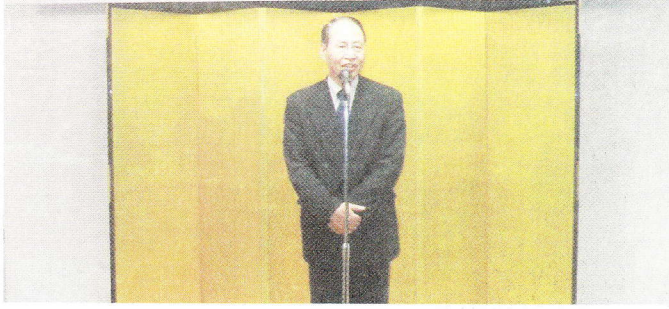
なかなかよく勉強してもらい、高得点が多い中、何名かの生徒さんは全問正解するまで何度も再チャレンジし、最終的には全員満点で終了しました。



リサイクル勉強会でも活発に
挙手をしてくれました

家や学校に戻っても今回学んだ地球防衛軍精神を伝えて言っても嬉しいですね。(地球防衛軍T)

第38回 日本再生資源事業協同組合連合会
通常総会懇親会



退任の挨拶をする紺野会長

紺野理事長・日資連会長退任

かねて辞意を表明していた日本再生資源事業協同組合連合会(日資連)の紺野会長は、五月一四日の通常総会で正式に退任した。
昭和五七年組合理事になり、東京都資源回収事業協同組合理事長・関東資源回収組合連合会会長などを歴任し現在に至っている。
なお、当組合の理事長および(社)東京都リサイクル事業協会の副会長は継続して務める。

行事・行動

【平成二二年二月】

六日.. 東資協賀詞交歓会

八日.. 東資協理事会

九日.. クリーンJIC特別委員会

一日.. 定例理事会

一三日.. TAMAとことん討論会

一五日.. RC安全会議

二三日.. (社)東リ協会フォーラム

二四日.. 古紙C業務委員会

二六日.. 青年部会議

二七日.. 官公需共同検査委員会

【三月】

三日.. 臨時理事会

五日.. 福利厚生委員会

七日.. 関資連拡大理事会

八日.. 東資協・理事会

.. RC安全会議

九日.. 定例理事会

一〇日.. 経産省 回収現場視察

.. 青年部会議

一三日.. 武蔵村山市民フォーラム

.. 従業員安全研修会

(六七名)

一五日.. 古紙C理事会業務委

一六日.. (社) 東リ協合理事会

.. 官公需共同検査

二〇日.. 日資連理事会

二三日.. 官公需共同検査

二五日.. 官公需共同検査

二六日.. 東京都・異業種懇談会

三〇日.. 東村山市廃棄物減量審

三一日.. 青年部会議

.. 中央会・役員会

【四月】

二日.. 総務委員会

.. 広報委員会

四日.. 官公需共同検査委員会

六日.. (財) 古紙C特別委員会

六日.. 西東京市集団回収懇談会

八日.. 東資協理事会

九日.. 定例理事会

一二日.. 東リ協会日野市地域懇

.. RC安全会議

一三日.. 日資連・抜取対策WG

一四日.. 青年部会議

一七日.. 日資連・理事会

二〇日.. (社) 東リ協合理事会

二二日.. 古紙C業務委員会

二四日.. 青年部総会

三〇日.. 3R推進フォーラム総会

【五月】

七日.. 東資協理事会

一一日.. 定例理事会

一四日.. 日資連・通常総会

一八日.. (社)東リ協会・決算総会

二〇日.. 第一七回通常総会

二一日.. (財) 古紙C業務委員会

二二日.. 東資協・通常総会

二三日.. 東村山集団回収懇談会

.. 清瀬市・環境フェア

編集後記

株資源新報社の太田原様、御寄稿ありがとうございます。記者からの目線で資源相場の四半世紀を書いて頂き、大変おもしろく読ませて頂きました。相場に左右されながら喜怒哀楽を感じていた頃の自分を思い出します。環境保全からの観点と、国の財産ではあるが相場によって流通の方向性が変わる再生資源の今後の在り方を議論するべきだとの意見に賛成です。鉄スクラップと古紙だけでなく、廃家電、ビニール、ペットボトルなどすべての資源が対象だと思います。

カムカムコーナーはいかがですか。自分達が住む地域をもう一度ゆっくり歩いてみると、素敵な所がけっこうありますよ。時間に追われて通り過ぎていた所や、風景が、ゆっくり歩くといつもと同じなのに別な場所に来た様な感じを受けます。もしかするとものすごく感動したりするかも。もしその様な場所や地域を見つかったり、ご存知でしたら「カムカム」に掲載したいので、組合事業所までご一報ください。

Y. T